

# 『量子アニーリングの基礎』正誤表

(西森秀穂・大関真之 著)

2020年8月5日更新

## 1. 初版1刷（2018年5月25日発行）の訂正と補遺

奥付の日付が「2018年5月25日」の初版1刷をお持ちの方は、1, 2両方の正誤表をご覧ください。

訂正箇所	誤（更新前）	正
p.18, -6行目	具体的な問題に応じてほどほどの値に決めているのが実情である。	具体的な問題に応じてほどほどの値に決めているのが実情であるが、一定の指針は与えられている [26].
p.22, 11~12行目	これらのパラメータの値は実際には経験的に定めている。	これらのパラメータの値は実際には経験的に定めているが、一定の指針は与えられている [26].
p.138, 文献 [26] (更新)	<i>arXiv:1708.05753</i>	<i>Quantum Inf. Proc.</i> Vol. 17, 39, 2017.

## 2. 初版1刷, 2刷（2018年6月10日発行）, 3刷（2019年4月1日発行）共通の訂正

奥付の日付が「2018年6月10日」「2019年4月1日」の2, 3刷をお持ちの方は、これ以降をご覧ください。初版1刷をお持ちの方は、上記1.も併せてご覧ください。

訂正箇所	誤	正
p.63, 式(7.3)	$\Gamma(t) = a(\delta t + c)^{(-1/(2N+1))}$	$\Gamma(t) = a(\delta t + c)^{(-1/(2N-1))}$
p.64, 3行目	正方行列 $\hat{M}$ のすべての要素が正定値 ( $M_{ij} > 0, \forall i, j$ ) のとき,	正方行列 $\hat{M}$ の各成分が正 ( $M_{ij} > 0, \forall i, j$ ) のとき,
p.64, -6~-5行目	$E_+ - \hat{H}(t)$ のすべての行列要素は半正定値である。	行列 $E_+ - \hat{H}(t)$ の各成分は非負である。
p.64, -3~-2行目	$\hat{M}$ のすべての行列要素 ( ...) は正定値である。	$\hat{M}$ の各成分 ( ...) は正である。
p.65, 式(7.10) 1行目	$\begin{aligned} \Delta_j(t) &= \epsilon_j(t) - \epsilon_0(t) \\ &\leq \frac{2(E_+ - \epsilon_0(t))N!}{N(E_+ - E_{\min} + N\Gamma_0)^N} \Gamma(t)^N \end{aligned}$	$\begin{aligned} \Delta_j(t) &= \epsilon_j(t) - \epsilon_0(t) \\ &\geq \frac{2(E_+ - \epsilon_0(t))N!}{N(E_+ - E_{\min} + N\Gamma_0)^N} \Gamma(t)^N \end{aligned}$
p.77, 5行目	$\hat{H}_l$ は半正定値である。	$\hat{H}_l$ は各成分が非負の行列である。
p.81, 8行目	$K_{ij}$ の符号が半正定値でないときには,	$K_{ij}$ の各成分が非負でないときには,
p.104, 15行目	$w_i = 2\sigma_i - 1 (\sigma_i \in \{-1, 1\})$	$w_i = (\sigma_i + 1)/2 (\sigma_i \in \{-1, 1\})$